

高石眞五郎 たかいし しんごろう 新聞人。明治十一年九月二十一日千葉縣生れ、昭和四十一年一月二十五日没（八六一一九七）。筆名瓢々子、眞、高石瓢瓢等。明治二十四年慶應義塾法科卒。大阪毎日新聞社入社、外國特派員、外信・政治部長を経て、大正十一年主筆、昭和二十年社長、のち會長。この間ICC（國際オリンピック協会）委員となり東京オリンピック招致に貢献。四十二年文化功勞者。

著書に、ホール・ケーン作 コウマン、ザウ、ゲーヴェスト、シーロ（高石瓢々子、大正二年十月二十日深江堂書店・杉本染江堂）、カナメ叢書（）、『歐米を覓へ』（昭和四年五月十五日大阪・大阪出版社）、『JAPAN SPEAKS OUT（正義日本）』（英文、昭和十三年十月十五日北沢堂書店）、『福沢諭吉』（昭和二十五年七月二十一日社会教育協会）等。『高石五郎』（昭和四十四年一月二十一日高石眞五郎伝記刊行会）刊。

